

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	生涯学習課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力
分野別方針	(4) ふるさと教育の推進
実施計画事業	1) ふるさと教育推進事業(No.37)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	文化財保護普及啓発事業	99.2%	A
02	伝統芸能保存事業	99.5%	A
03	埋蔵文化財調査事業	88.4%	B
04			
05			
課題 (箇条書き)	・埋蔵文化財については、専門職の採用と予算措置が必要であるため、 今後のあり方について検討が必要である。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		B
	説明	埋蔵文化財調査が不十分であり、体制の見直しが必要である。	

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	埋蔵文化財調査については専門職の配置が必要である。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	・伝統芸能保存事業については、地域の方々は伝統行事等の継承に努力されている。町の文化として団体育成や発表の場を確保して行く必要がある。 ・埋蔵文化財調査事業については、現状は専門職が不在のため県に調査等の支援を受けている。対象者(埋蔵文化財の地権者)の利便を確保するうえでも、専門職の配置が必要であると思われる。		